

## 2020年以降のSCOAP<sup>3</sup>フェーズ3における参加機関の拠出額の算出方法について

フェーズ3(2020年～2022年)に参加する機関(図書館)については、原則、SCOAP<sup>3</sup>の支援に係る拠出額を以下の方法に基づいて算出するものとします。

### 1. アメリカ物理学会(APS)が発行する雑誌に係る拠出額

2020年における各機関の購読価格(原価)に、定められた係数※1を乗じて算出する。

### 2. 前述のAPSが発行する雑誌以外(non-APS)の雑誌に係る拠出額

フェーズ2における各機関の拠出額(原価)に0.92※2を乗じて算出する。

※1 APS-ALL=12.00% PR C=8.17% PR D=56.11% PR Letters=9.76%

※2 6.5(フェーズ3のために算出された、高エネルギー物理学分野における日本の論文シェア)÷7.1(フェーズ2のために算出された、同分野における日本の論文シェア)

なお、参加機関が実際に拠出する際は、国立情報学研究所が定める為替レートを用いて、円建てで支払うものとします。

(前述の算出方法を採る理由)

1, 2の算出方法ともに、拠出額の算出に用いる数値(2020年におけるAPSの係数及びnon-APSにおけるフェーズ2からフェーズ3に移る際の論文シェアの変化率)が最新かつ合理的なものであり、各機関において理解の得られやすいものと考えられるため。

以上